

萩の湯だより10月号

NO. 27

発行日 令和元年10月01日

作成者 長沼 雄三



住所 東京都台東区根岸2-13-13
 JR 山手線鶯谷駅徒歩3分 JR 日暮里駅徒歩8分
 電話 03-3872-7669
 HP アドレス <http://haginoyu.jp/>
 営業時間 朝湯 6:00~9:00 (最終受付 8:30)
 11:00~深夜 1:00 (最終受付 0:30)

料金 大人470円 小学生180円 幼児80円
 サウナ プラス150円 (土日祝200円)
朝湯サウナ無料
 タオルセット 70円
リンスインシャンプー・ボディーソープ無料
 定休日 第3火曜日 (祝日の場合翌日水曜)

10月6日(日)はラベンダー湯

中学生以上のお客様先着2000名に記念タオルを配布、小学生以下のお客様先着200名にヤクルトを差し上げます。他にもプレゼント(共通入浴券やFC東京グッズなどが当たる)の応募券をお配りいたしますので是非ご来店ください。

タオルは当日ご来店されたお客様のみ配布いたします。もしタオルが余りましたら後日1本160円で販売いたします。

*オーナーのコラム

先日オリンピックのマラソン代表を決めるMGCが東京オリンピックのコースを舞台に開催されました。初めて開催される大会のため陸上好きな人しか注目していないかと思いきや、レース前の特集などで一気に認知度が高まり、視聴率は同時中継ながらTBS男子16.4%、NHK女子13.5%と合わせて30%近く、日本のマラソン人気を改めて感じました。

私も娘と2人で観戦、神田あたりは空いていましたが、日本橋は多くの観客で沿道が埋まっていました。沿道観客数は52万人、来年のオリンピックはこの倍になるでしょう。

さて肝心のレース内容はというと男子80点、女子65点あたりでしょうか。

男子優勝の中村匠吾選手(富士通)は高校時代(上野工・三重)から有名で、2010年夏のインターハイ5000Mで1位の留学生キチンジ選手(当時青森山田)と1秒差の3位に食い込んだ実績があります。なにせこの種目は1993年から現在に至るまで27年間ケニア人留学生に優勝をさらわれていきますから、このとき2位の西池選手(当時須磨学園)とともに、もっとも留学生に肉薄したとして期待されました。大学時代も箱根駅伝1区で区間賞を取るなど活躍しましたが、マラソンではあまり目立ったことがなく、ダークホース的な存在となりました。

しかし今回のラスト2.195キロのラップ6分18秒は充分世界に通じるものだと思います。2位の服部選手、3位の大迫選手もよく食らいつきました。一方女子は出場者数が10名という層の薄さを感じさせ、一時期の勢いが失われつつあります。↑

薬湯の予定

10月

1	火	レモン	16	水	ザクロース
2	水	カボチャ	17	木	玉露カテキン
3	木	実宝湯	18	金	ホットハーブ
4	金	玉露カテキン	19	土	ひのき
5	土	ホットハーブ	20	日	カボチャ
6	日	ラベンダー湯まつり	21	月	生姜エキス
7	月	ザクロース	22	火	りんご
8	火	ひのき	23	水	よもぎ
9	水	生姜エキス	24	木	濁り酒
10	木	りんご	25	金	レモン
11	金	カボチャ	26	土	実宝湯
12	土	よもぎ	27	日	玉露カテキン
13	日	レモン	28	月	ザクロース
14	月	実宝湯	29	火	ホットハーブ
15	火	定休日	30	水	ひのき
			31	木	カボチャ

*上記は実宝湯、ラベンダー湯を除き全て入浴剤を使用します。

18日鳴子温泉湯の花

↓その中で一人気を吐いたのが女子優勝の前田穂南選手(天満屋)、序盤から飛ばす姿は高橋尚子さんに重なりました。記録は2時間25分15秒でしたがラストを粘り23分台が出ていればかなり期待できたでしょう。前田選手は中村選手とは対照的に、高校時代は駅伝メンバーの補欠で日の目を見なかった苦労人です。飛躍を期待します。レース内容は賛否が分かれますが、何より今回一番評価できるのは大切なレースにしっかりとピークを合わせる事が出来た調整力でしょう。オリンピックの時も同じように万全の状態での出場し好レースを期待したいと思います。ガンバレ日本!!!

